

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1199号	氏名	松本 幸二郎
論文審査担当者		主査教授	永山 雄二
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	上平 憲
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、従来の治療法では根治困難な肝癌に対する新規治療法開発の基礎検討として、強力な血管新生抑制因子である Pigment epithelium-derived factor (PEDF) を用いた遺伝子治療の有用性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>上記目的のため、(i) 各種肝癌細胞株及びヒト肝疾患患者での PEDF の発現及びその調節を検討し、(ii) PEDF の血管内皮細胞増殖・遊走に及ぼす影響を明らかにし、(iii) さらに肝癌細胞株に強制発現させた PEDF の <i>in vivo</i> での治療効果を検討した研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、各種肝癌細胞株・肝疾患での PEDF の発現レベルを明らかにし、PEDF の血管内皮細胞増殖・遊走抑制作用を確認し、また強力な抗腫瘍効果を証明した点は高く評価できる。今後の臨床応用への展開が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、肝癌新規治療法としての遺伝子治療の開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。